

www.r-toolbox.jp

toolbox

オーダーフレームキッチン

目次

安全上のご注意	1-2
各部のなまえ	3
内容物一覧	4
取り付け前の確認	5
基本取り付け要領	6-11
取り付け後の点検	12



ご使用前に、この取扱説明書本文にて「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みいただいた後は、お使いになる方がいつでもみられるところに必ず保管してください。各設備機器（調理器具・換気扇等）には専用の取扱説明書が付属されておりますので必ずお読みください。

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意 **必ずお守りください**

●警告表示の見方

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表 示	意 味
 警 告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注 意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次のアイコンで区分し、説明しています。

 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、かならず実行していただく「強制」内容です。

 この表示は、気をつけていただく「注意」内容です。

警 告

 **分解・改造はしない。**
破損して、ケガをする恐れがあります。

 **水道、ガス、電気工事は、関連する法令・規定に従い必ず「有資格者」が行ってください。**
誤った接続や固定方法で行うと、ガス漏れ、漏水、発煙、火災、漏電の原因となります。

 **本書指定位置（P-5）に取付用木下地（18mm 以上の合板）が取り付けられていることを確認してください。**
木下地がしっかりと取り付けられていないと落下して、ケガをする恐れがあります。

 **かならず、商品に同梱している専用の取付部品・ネジ類を使用してください。**
落下して、ケガをする恐れがあります。

 **ネジ類で固定する際は、しめ過ぎて空回りしたり、ネジの十字溝を破損して、回しにくくならないようにしてください。**
固定が不十分になり、落下して、ケガをする恐れがあります。

警告



キャビネット・ワークトップの上に乗ったり、もたれかかったり重量物を乗せたりしないでください。

落下して、ケガをする恐れがあります。



シンクに排水金具を取り付ける際等、金属製品の切断面に手をかけるときは必ず保護手袋をしてください。

金属製品の切断面で、ケガをする恐れがあります。



移動等の際は2人以上でしっかりと持ち上げてください。

落下して、ケガをする恐れがあります。

※PPバンドを持って運ぶと商品の重量でバンドが切れてしまう恐れがあるので十分に気を付けてください。



設置仕上げに使われる溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用してください。

人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

注意



取り付け完了後は、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。

調整後はゆるめたすべてのネジを硬く締め付けてください。



ビルトイン機器(水栓金具・排水金具・レンジフード・調理器具、その他の機器)については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧ください、正しく取り付けてください。

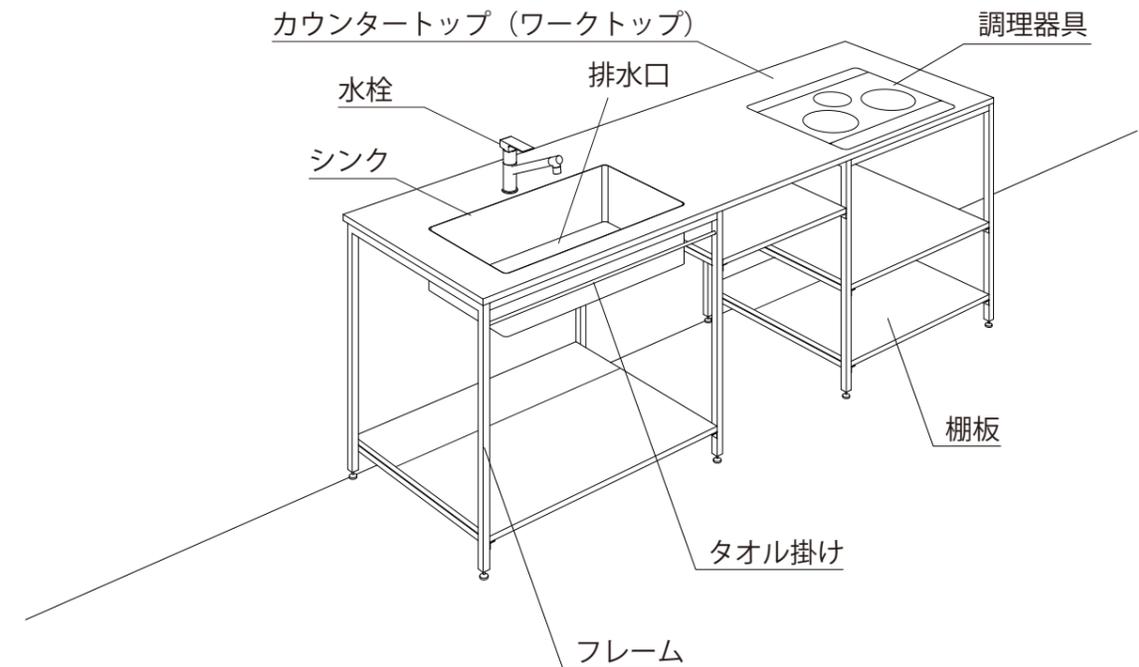
誤った取り付けを行うと思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。



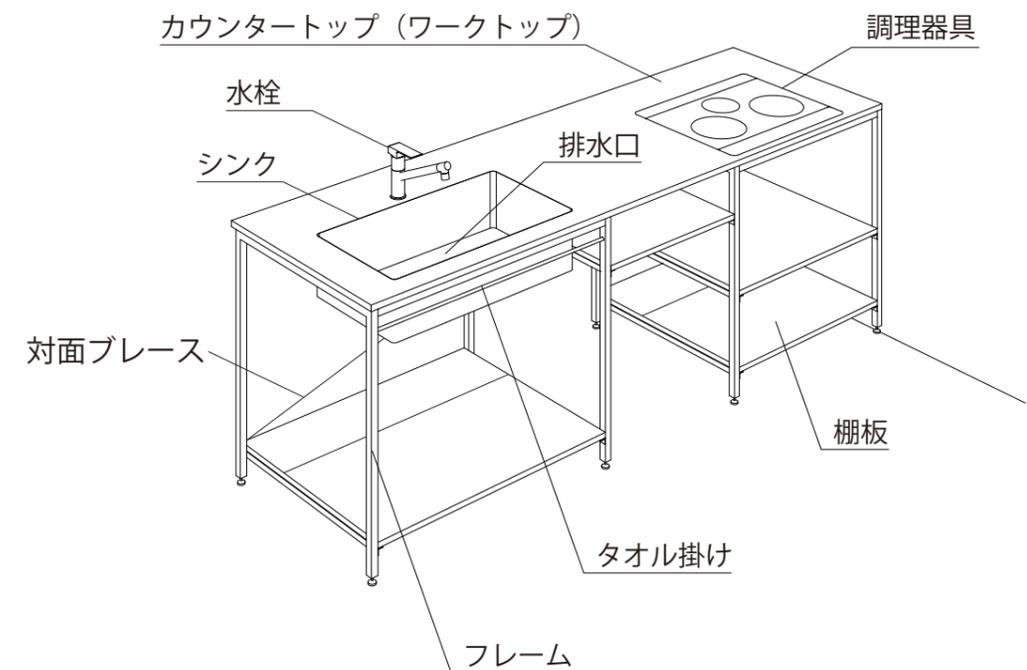
排水金具の接続は、各部品を確実に締め付けてください。

水漏れし、不快なにおい、カビの発生、腐食の原因になります。

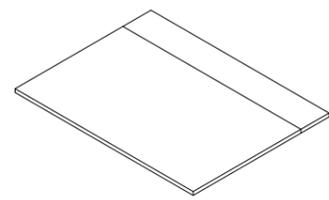
壁付け型



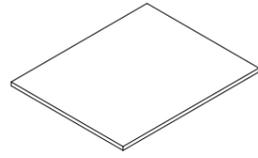
対面型



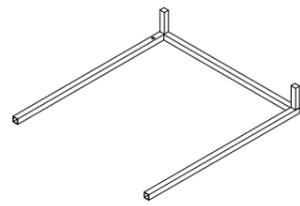
内容物一覧



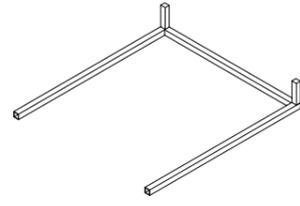
棚板
シンク下用 × 1
コンロ下用 × 1



棚板
コンロ下用 × 1
中間用 × 1



フレームA
(ブレース用ネジ穴有)
× 2



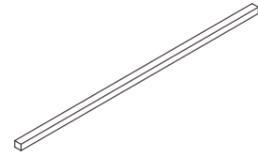
フレームB
(ブレース用ネジ穴無)
× 2



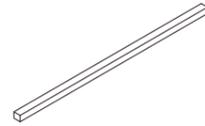
タオル掛け丸パイプ
× 1



棚受けアングル
× 8



シンク側継ぎパイプ (長)
× 2



コンロ側継ぎパイプ (短)
× 2



天板ビス
× 24



棚板ビス
× 32



ナミダメ
× 1



低頭ボルト
× 1本



ナット
× 16



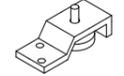
六角レンチ
× 16



平ワッシャー
× 16



スプリング
ワッシャー
× 16



アジャスター
× 8



スパナ
× 1



インロー
固定ビス
× 16



床固定ビス
× 16



対面ブレース
(対面型のみ) × 2



壁固定ビス
× 8
壁固定用



壁固定ビス
× 2



M8 ボルト
× 4



平ワッシャー
× 4



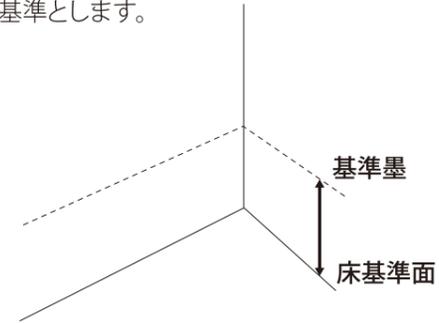
スプリング
ワッシャー
× 4

対面用

取り付け前の確認

■ 床レベルの計測

基準墨を出して床レベルの最も高いところを床基準とします。



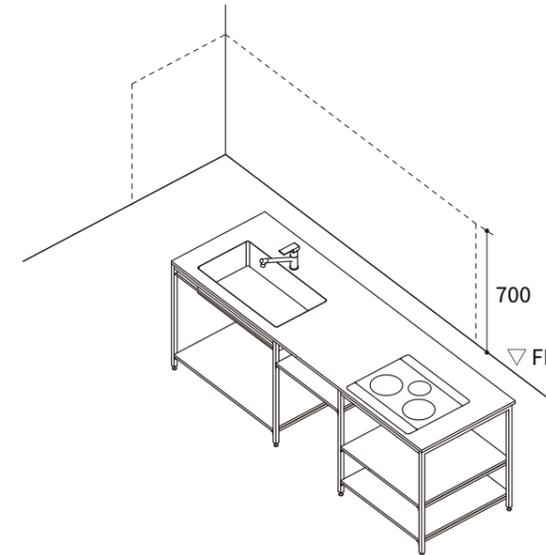
⚠ 警告

❗ 取付用木下地 (厚さ 18mm 以上の合板) が、指定通りに施工されていることを確認してから取り付けてください。

取付用木下地がしっかり取り付けられていないと、落下してケガをする恐れがあります。

■ 下地位置の確認・各基準線の墨だし

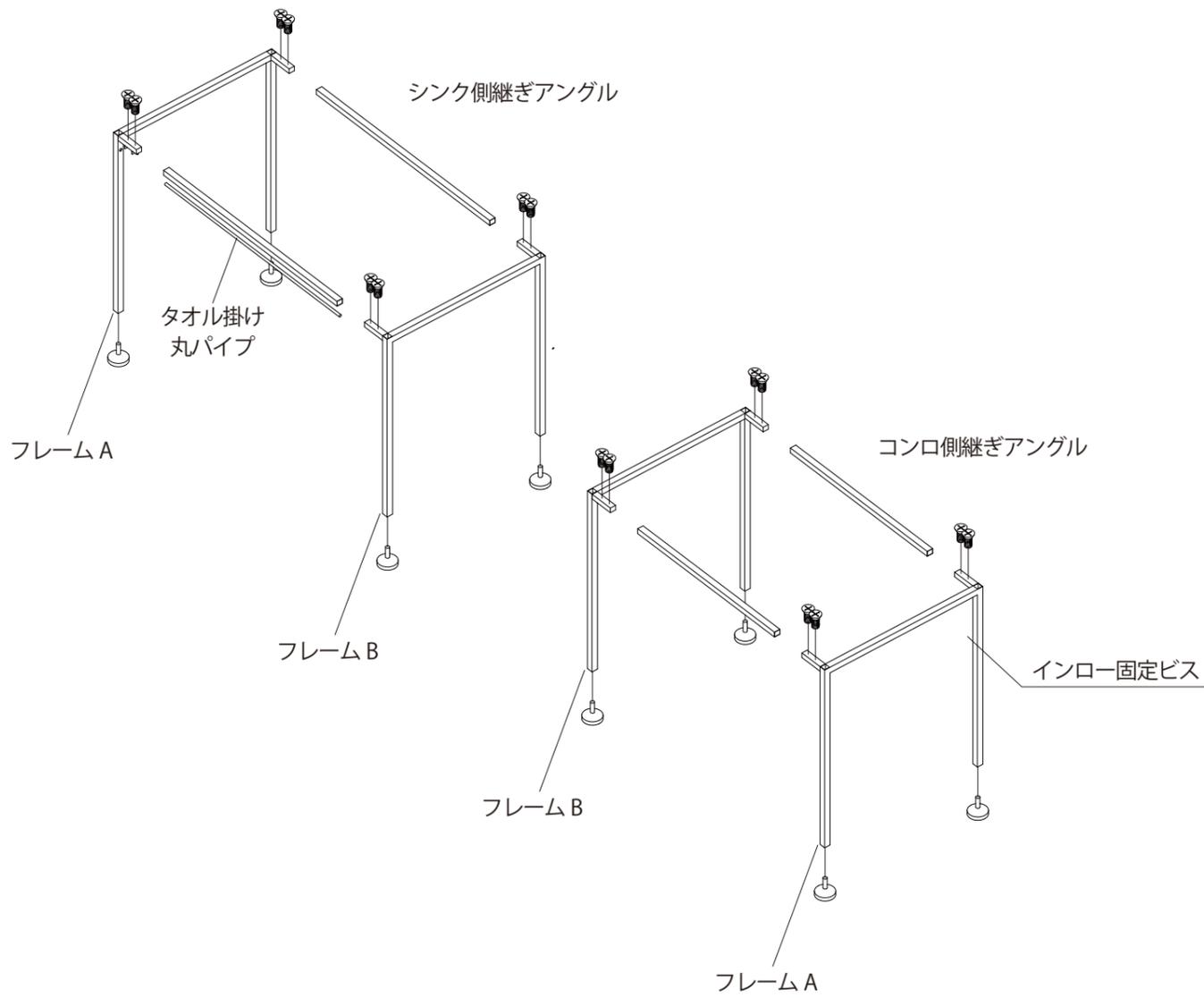
床基準より、下記の位置に取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認してください。また、取り付け時の基準となる墨をだしてください。



基本取り付け要領

① フレーム同士の連結

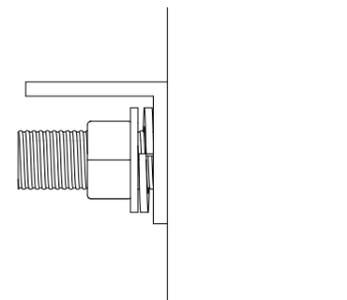
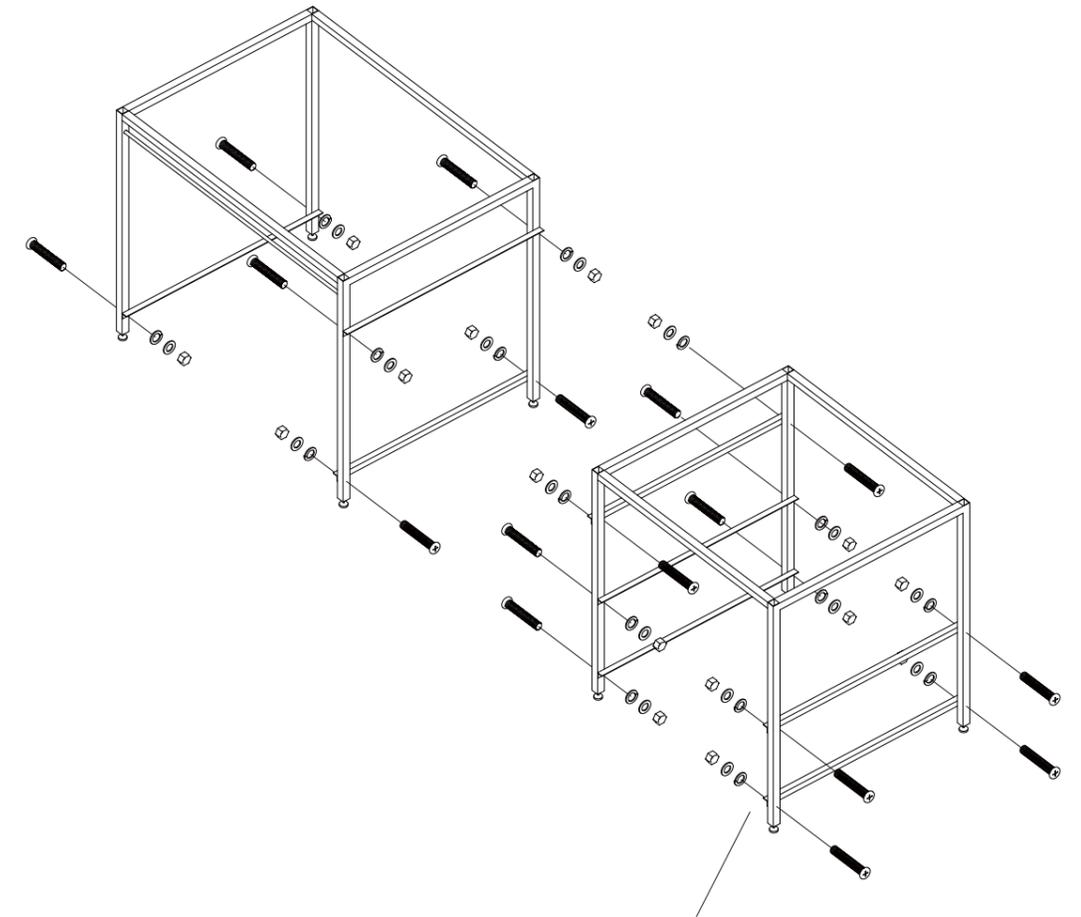
フレーム A とフレーム B を継ぎパイプにて連結します。シンク側にはタオル掛け丸パイプを差し込み後に連結して下さい。



基本取り付け要領

② 棚受アングルの固定

棚受アングルを低頭ボルト+スプリングワッシャー、ワッシャー、ナットを使い、フレームに固定します。

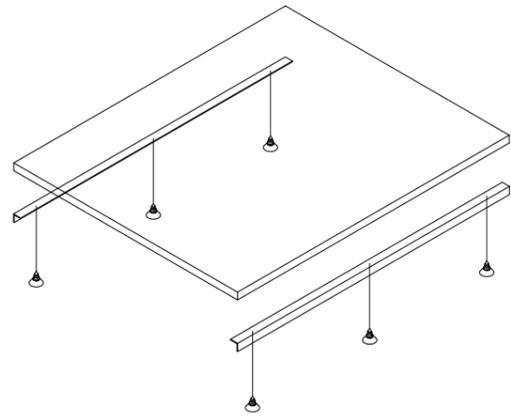
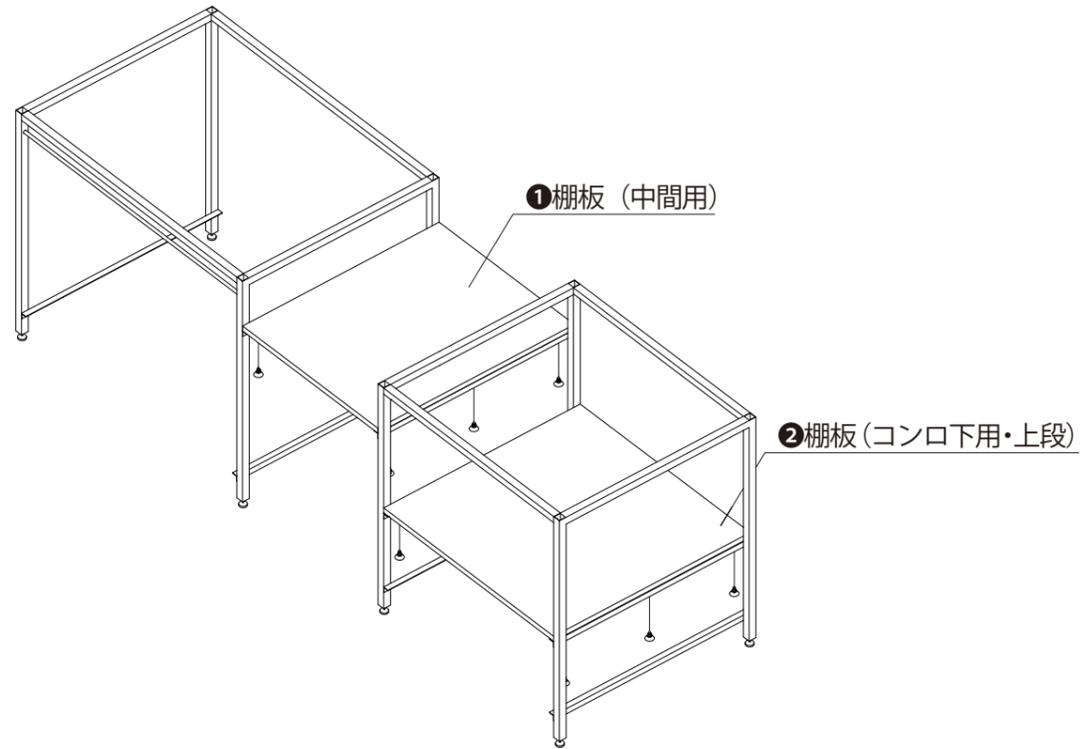


低頭ボルトにナットを締める際は必ずスプリングワッシャーとワッシャーを使用して下さい。

基本取り付け要領

③ 棚板の設置

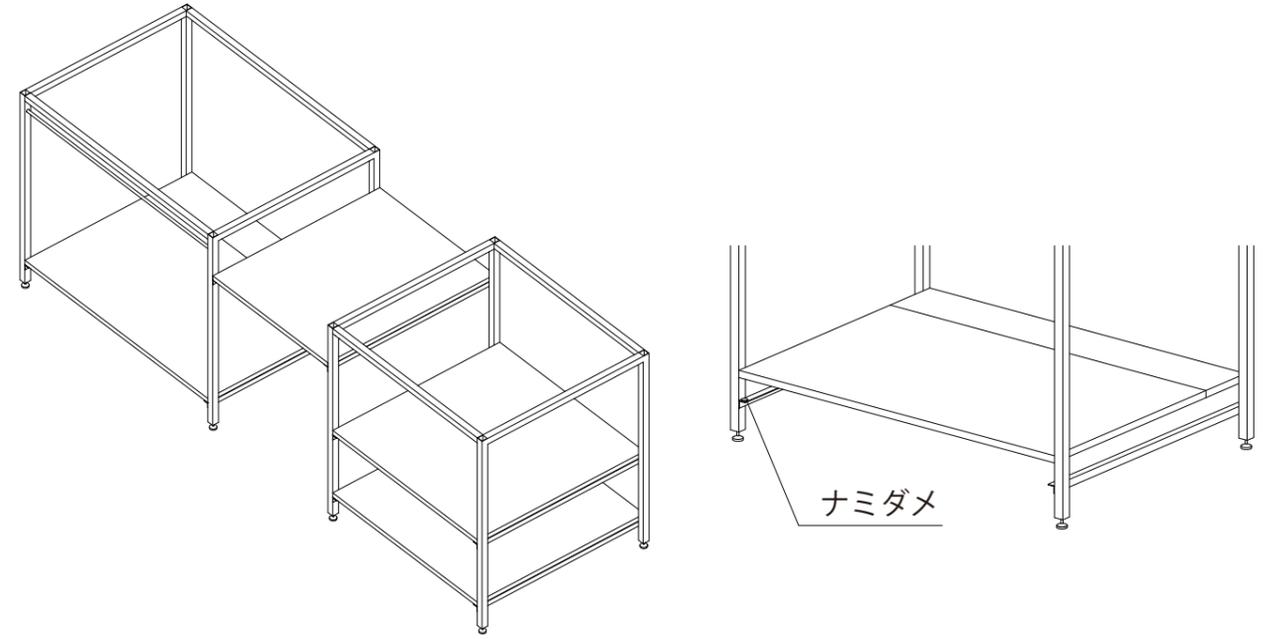
棚板（中間用とコンロ下用・上段）と棚受けアングルをビス固定します。



基本取り付け要領

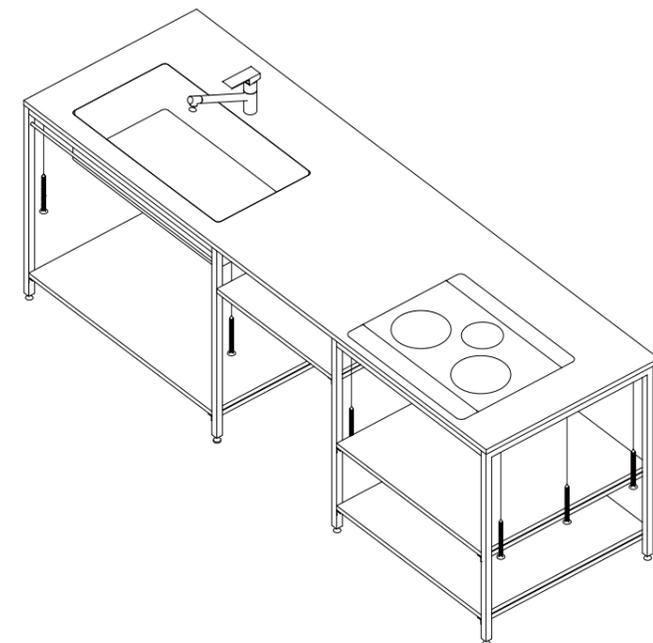
③ 棚板の設置

棚板（シンク下用とコンロ下用・下段）を棚受けアングルに載せます。



④ 天板の固定

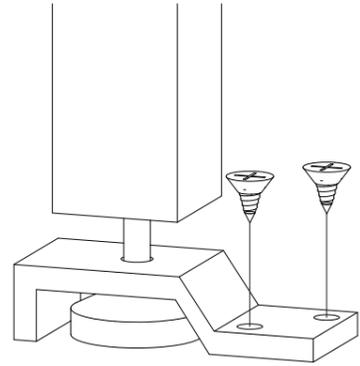
フレームに天板を乗せ、ビスで固定します。



基本取り付け要領

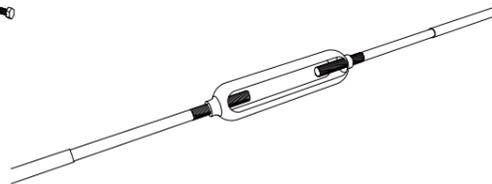
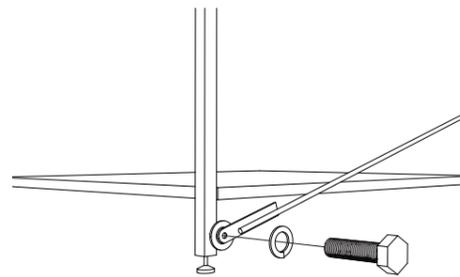
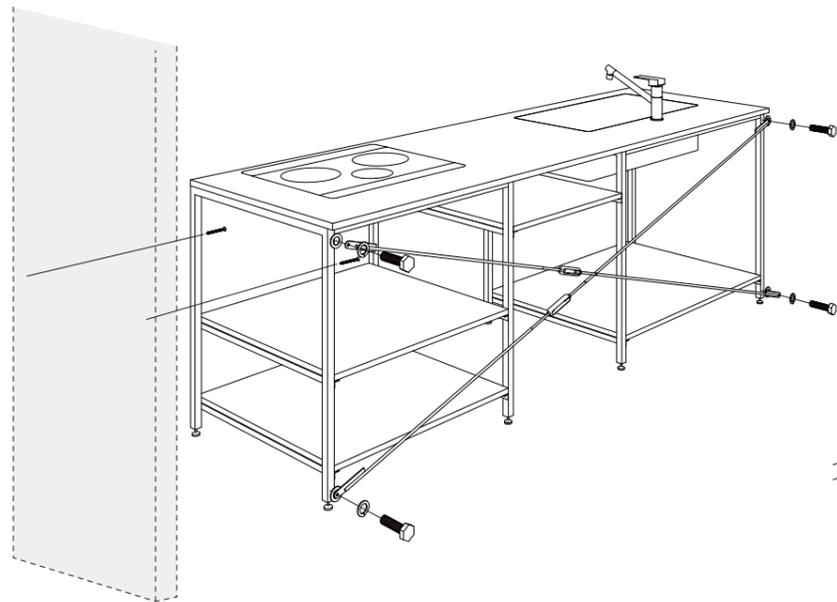
⑤ 床面に固定

アジャスタにて高さを調整し、固定器具をビスで床に固定します。



⑥ ブレースの固定 (対面型のみ)

本体にブレースを取り付けます。ターンバックルを締め付けます。
(ターンバックルの締め付けは必ずアジャスター固定器具を床に固定した後に行ってください。)

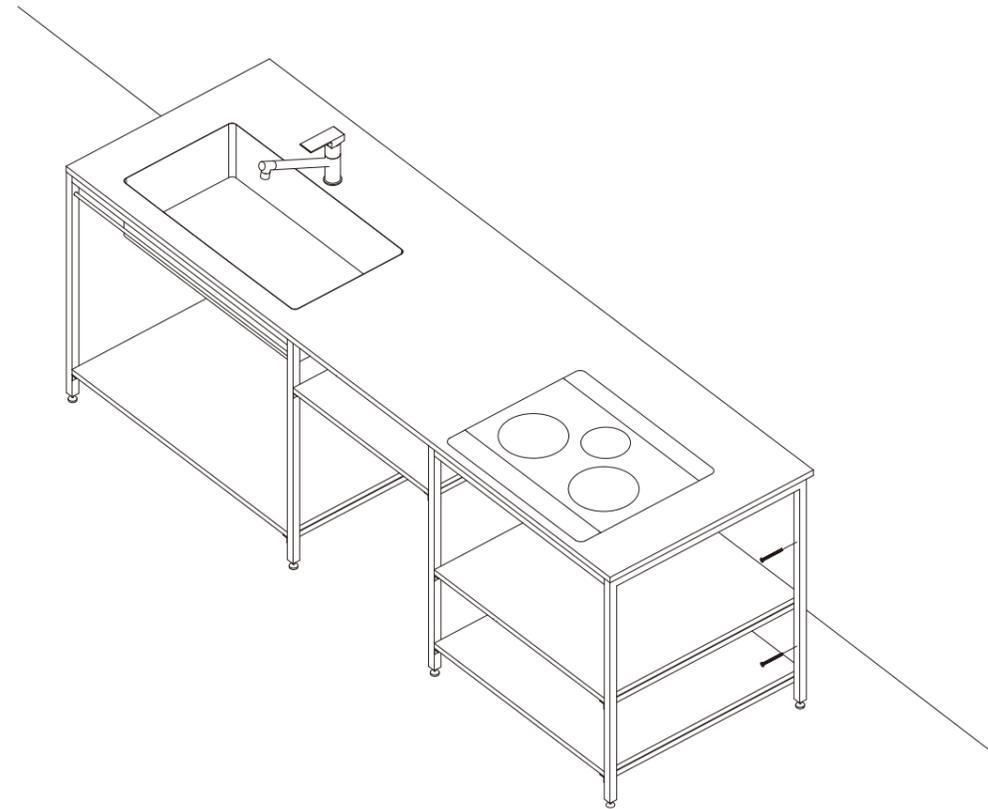


ターンバックルを回転させ締め付けます。

基本取り付け要領

⑥ 壁に固定 (壁付け型のみ)

ビスでフレームを壁に固定します。



取り付け後の点検

点検(取付完了報告書)

フレーム・ワークトップ・シンク	キズ・汚れ・残材がない。
	ワークトップとフレーム とが連結されている。
	ワークトップが水平になっている。
	水漏れがない。
	トラップが取り付けられている。
	シンクに水滴が残っていない。
フレームが床に固定されている。	
養生	養生されている。 製品の梱包材等を利用して、引き渡しまでキズがつかないよう養生してください。

注意



試運転を実施してください。

機器類(レンジフード、調理器、水栓等、メーカーの取扱説明書がある商品)は
取扱い説明書に基づき、試運転し、正常に機能することを確認してください。